学校番号　２５　　秋田県立由利工業高等学校

中期ビジョン（５か年計画　令和３年度～７年度）

令和３年７月 策 定

令和５年６月一部改訂

現状と課題

全県トップクラスの県内就職率、地域機関との連携、各種奉仕活動の継続、地域合同防災訓練など一定の成果をあげているが、本校の特色が十分に理解されていない、情報発信力に難があることなど問題点も指摘されている。さらに少子化が進み、今後は入学者の獲得など努力を求められることが予想される。

本校を取り巻く環境と地域の要望

少子化、人口減少など入学を希望する中学生の減少が予想される。

一方で地域に根ざし、地元産業を支える担い手を育成する学校として地域社会から熱望される側面が強い。

目指す学校像

1　「確かな学力と高い志を育てる教育の充実」に力を注ぐ学校

2　「地域に根ざしたキャリア教育の充実」を図る学校

3　「学科の特性を活かした進路指導の充実」を実践する学校

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）「育成を目指す資質・能力に関する方針」

1　心身共に健全で豊かな人間性を育みます。

2　地域社会に貢献し、自らその発展に寄与しようとする高い志を醸成します。

3　専門分野の技術技能を習得し、実践と創造を重んじ工業界の発展に寄与する意欲を育みます。

カリキュラム・ポリシー（本校の学び）「教育課程の編成及び実施に関する方針」

1　航空機コースをはじめとする学科横断型の特色ある教育課程や、学科独自の特性を活かした教育課程を編成し、学力の向上と進路学習を重視した学習活動を実施します。

2　地域の保育園児との交流や全校クリーンアップなど地域と連携した貢献活動や協働を実施すると共に、「由工スタンダード」の励行、生徒会活動、部活動、学校行事の充実を図り魅力ある学校生活を実現します。

アドミッション・ポリシー（求める生徒像）「入学者の受け入れに関する方針」

本校では、次のような生徒を求めます。

1　工業科の専門科目を学び、スペシャリストとして将来産業界で活躍したい生徒。

2　学ぶ意欲・目的をしっかりと持ち、学習・部活動・生徒会でがんばる生徒。

3　「ものづくり」が好きで、積極的に資格取得を目指す生徒。

課題克服のための重点目標

（１）　全人教育を達成するための調和のとれた学び

（２）　県内企業への就職率の高さの維持向上、各科の学びを活かした就職先の開拓、進学希望者への対応

（３）　工業高校の特色を活かした地域貢献・連携・協働

（４）　地元企業・大学との将来を意識した連携、地元小学校・中学校との接続を意識した連携

※　課題に継続的に取り組み、その成果を広く情報発信し、その教育活動に理解を得るよう努めます。

本校が目指す５年後の姿（具体的な目標）

（１）地域貢献に資する人材を育成します。

①　地域貢献活動の充実　②　地域資源との連携・協働　③　防災拠点作り

（２）各科の特性を活かしながら、４科合同で取り組む学びを導入します。

①　課題研究、科を超えた探究活動　②　先端加工技術など新しい技術の導入

③　航空機専門カリキュラムの充実

（３）就職と進学（工学部系）の多様な進路選択が可能な工業高校を目指します。

①　就職内定率１００％かつ県内就職率７０％以上の達成

②　進学希望者の第１志望合格率１００％の達成

（４）部活動を充実・発展させます。

①　自律と向上心の育成

②　部活動加入率７５％以上の達成

具体的な取組

「由工スタンダード」の励行

（１）生活編　挨拶励行・時間の有効活用・自己管理

（２）技能編　確かな技術・技能を身に付けた技能者の育成

（３）資格取得編　各種資格の取得

学力向上とキャリアガイダンス

（１）授業改善の取組

（２）朝学習や基礎力診断テストに基づく基礎学力の向上

（３）工場見学、企業研究、先輩講話などキャリア学習の充実

（４）インターンシップ、会社見学の充実と地域企業とのネットワーク強化

（５）進学希望者のための系統的・組織的個人指導の充実

（６）秋田県立大学・秋田大学との連携強化

地域貢献・連携・協働

（１）工業教育の特色を活かした地域貢献

（２）地域協働・社会貢献の意識を持った地域貢献活動

（３）地元中学校との連携を強め、なめらかな接続の実現

生徒会活動・部活動の充実

（１）全人教育を目指し自律を達成するための活動の活性化

（２）ものづくり大会、コンテスト、競技会への積極的な挑戦